

第 56 期
中 間 報 告 書

(平成27年 4 月 1 日から)
(平成27年 9 月 30 日まで)

fligan

愛眼株式会社

証券コード 9854

株主の皆様へ

株主の皆様には、日ごろより格別のご支援を賜り誠にありがたく厚くお礼申しあげます。

さて、当社は平成27年9月30日をもって第56期第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに事業の概要をご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中国を始めとするアジア新興国などの経済の減速懸念や米国の金融政策の行方、それを契機とする不安定な株価動向に加え、円安を背景とした物価上昇などにより実質所得の改善にまで至らないことが影響し、消費者マインドの回復の遅れが懸念されており、実体経済は依然弱含みの状況にあります。眼鏡小売市場におきましては、お客様の根強い節約志向が続く中で、同業者間での販売競争・価格競争などによる厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、「NEW愛眼プロジェクト」で築き上げた営業基盤を有効に活用し、対処すべき課題と真摯に向き合うことで、顧客志向に立った商品開発とサービスのレベルアップ、営業体制の効率化に鋭意取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、主に眼鏡小売事業の売上が増加に転じたことにより、売上高は8,716百万円（前年同四半期比3.9%増）、売上総利益率は0.7%増となりました。営業経費は、人件費やシステム関連経費などが増えたものの、広告宣伝費や改装関係などの経費支出を抑えることによって、営業利益は249百万円（前年同四半期は営業損失65百万円）、経常利益は305百万円（前年同四半期は経常損失30百万円）となりました。また、特別損失として減損損失28百万円を計上したため、税金等調整前四半期純利益は281百万円（前年同四半期は税金等調整前四半期純損失56百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は202百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失106百万円）となりました。今後ともお客様の支持が得られる店づくりの推進と一層のコスト削減に取り組むことで、早期に黒字転換を実現し、持続的成長への道筋が見えるように、収益基盤の強化に努めてまいります。

当社グループにおける報告セグメントごとの状況は次のとおりです。

【眼鏡小売事業】

当社グループの中核である国内眼鏡小売事業においては、2012年から「NEW愛眼プロジェクト」をスタートさせ、お客様の嗜好やライフスタイルを踏まえた「アイスタイリング・サービス」を掲げ、事業戦略を進めており、新ビジュアルアイデンティティによる統一性のあるブランド訴求、メガネ一式価格「スマー

トプライス」による明瞭な価格表示、お客様のニーズを取り込んだオリジナルブランド品の提供、様々なマス媒体やTポイントを活用した広告宣伝などさまざまな営業施策に取り組んでまいりました。プロジェクトの完遂には未だ道半ばですが、今年度は、着実に改善してきている商品、サービス、店舗、人材を始めとする営業基盤を梃子に、「NEW愛眼プロジェクト」によって増加したニューファミリー層やヤング層に対する取り組みを継続しつつ、従来から固定客の中心を占めるミドル、シニア層に照準を合わせた商品力、技術力、接客力によるお客様へのアプローチを併行して推進しております。

売上高に関しては、幅広い年齢層のお客様のニーズを取り込んだ新商品の開発・投入並びに材質・機能面で付加価値を高めた商品の品揃えの拡充により、販売単価が改善し、売上高は順調に増加しました。また、当社の強みであるカウンセリング力が活かせ、シニア層の眼鏡販売との相乗効果が期待できる補聴器の売上高は好調に推移いたしました。一方、売上総利益率は、オリジナル品の商品構成の引き上げや高付加価値商品の品揃えの強化などを進め、若干ながら改善しました。

店舗に関しては、国内で1店舗を開設、4店舗を閉鎖し、2店舗で改装を実施しました。また、店舗と本部の業務プロセスの効率化・省力化を狙いとするPOS導入プロジェクトが進行中であり、来春に本稼動を予定しております。

この結果、眼鏡小売事業における売上高は8,291百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。

【写真館事業】

当社直営の「愛写館」3店舗による写真館事業は、幅広い年代、階層のお客様の記念写真・家族写真の撮影やアルバム制作をはじめ、美容着付け、衣装レンタルなどにも対応する総合写真館をコンセプトにしており、子供写真はもとより、成人式振袖記念写真などの大人の撮影メニューも豊富に揃えております。当第2四半期連結累計期間においては、近鉄あべのハルカス店を増床改装したほか、七五三、成人式、卒業式など記念イベントが多い下期に向けての集客活動に注力いたしました。

この結果、写真館事業における売上高は、店舗数が前年同期より2店舗減少したことも影響し、53百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご厚情を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成27年12月

代表取締役社長 下 條 三千夫

企業集団の財産及び損益の状況

区 分	第53期 (平成25年3月期)	第54期 (平成26年3月期)	第55期 (平成27年3月期)	第56期(中間) (当連結累計期間) (平成28年3月期)
売 上 高(百万円)	16,150	16,996	15,988	8,716
経常利益又は 経常損失(△)(百万円)	△1,606	△ 198	△ 341	305
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(百万円)	△3,729	△ 454	△1,237	202
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)(円)	△191.05	△23.43	△63.76	10.44
総 資 産(百万円)	18,903	18,568	17,429	17,866
純 資 産(百万円)	16,020	15,596	14,436	14,693
1株当たり純資産額(円)	825.40	803.56	743.78	757.01

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

- (1) 発行可能株式総数 60,000,000株
(2) 発行済株式の総数 21,076,154株
(3) 株 主 数 22,611名
(4) 大 株 主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
有 限 会 社 佐 々 興 産	2,138 千株	11.02 %
愛 眼 従 業 員 持 株 会	1,072	5.53
愛 眼 共 栄 会	960	4.95
佐 々 栄 治	694	3.58
株 式 会 社 瑞	635	3.27
佐 々 善 二 郎	468	2.41
佐 々 千 恵 子	442	2.28
下 條 千 一	328	1.69
セイコーオプティカルプロダクツ 株 式 会 社	298	1.54
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	286	1.48

(注) 持株比率は、自己株式(1,666千株)を控除して計算しております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 (H27. 3. 31現在)	当第2四半期末 (H27. 9. 30現在)	科 目	前期末 (H27. 3. 31現在)	当第2四半期末 (H27. 9. 30現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	7,964	8,272	流動負債	1,802	1,888
現金及び預金	4,702	5,181	支払手形及び買掛金	540	547
受取手形及び売掛金	753	724	1年内返済予定 の長期借入金	60	60
商品及び製品	2,355	2,149	未払法人税等	118	124
原材料及び貯蔵品	29	38	賞与引当金	—	120
その他	130	185	その他	1,083	1,036
貸倒引当金	△ 7	△ 7	固定負債	1,190	1,284
固定資産	9,464	9,594	長期借入金	285	255
有形固定資産	3,155	3,141	繰延税金負債	69	94
建物及び構築物	1,162	1,109	再評価に係る 繰延税金負債	6	6
土地	1,900	1,900	資産除去債務	350	350
リース資産	68	81	リース債務	298	401
その他	23	49	その他	179	175
無形固定資産	—	145	負債合計	2,993	3,173
リース資産	—	145	純資産の部		
投資その他の資産	6,309	6,307	株主資本	16,702	16,904
敷金及び保証金	3,883	3,844	資本金	5,478	5,478
投資有価証券	1,686	1,768	資本剰余金	6,962	6,962
その他	739	695	利益剰余金	5,312	5,515
資産合計	17,429	17,866	自己株式	△1,050	△1,050
			その他の包括利益累計額	△2,265	△2,211
			その他有価証券評価差額金	160	212
			土地再評価差額金	△2,471	△2,471
			為替換算調整勘定	45	47
			純資産合計	14,436	14,693
			負債純資産合計	17,429	17,866

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第 2 四半期(累計) (H26. 4. 1～H26. 9. 30)	当第 2 四半期(累計) (H27. 4. 1～H27. 9. 30)
売上高	8,390	8,716
売上原価	2,672	2,712
売上総利益	5,718	6,004
販売費及び一般管理費	5,783	5,754
営業利益又は営業損失(△)	△65	249
営業外収益	68	83
営業外費用	33	27
経常利益又は経常損失(△)	△30	305
特別利益	0	4
特別損失	26	28
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△56	281
法人税、住民税及び事業税	50	79
法人税等調整額	△0	△0
法人税等合計	50	78
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△106	202
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△106	202

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第 2 四半期(累計) (H26. 4. 1～H26. 9. 30)	当第 2 四半期(累計) (H27. 4. 1～H27. 9. 30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	599	609
投資活動によるキャッシュ・フロー	78	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34	△74
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	641	484
現金及び現金同等物の期首残高	1,647	1,902
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,289	2,387

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概況 (平成27年9月30日現在)

商号	愛眼株式会社
本社	大阪市天王寺区大道四丁目9番12号
設立	昭和36年1月11日
資本金	5,478百万円
主要な事業内容	当社グループは、眼鏡・サングラスその他関連商品を取り扱う眼鏡専門店チェーンと写真館を展開しております。
従業員数	775名 (ほか平均臨時従業員数461名)
店舗数	眼鏡店 256店舗 写真館 3店舗
連結子会社	2社

役員 (平成27年9月30日現在)

取締役会長	佐々栄治
代表取締役社長	下條三千夫
取締役	菅野忠司
取締役	下條謙二
取締役	佐々昌俊
取締役	森重洋一
常勤監査役	叶雅文
監査役	吉岡一彦
監査役	山田吉隆

- (注) 1. 森重洋一氏は、社外取締役であります。
2. 吉岡一彦及び山田吉隆の両氏は、社外監査役であります。

株主優待

3月31日及び9月30日現在、当社の株式を次のとおりご所有の株主様に対し、株主優待割引券を贈呈します。

[メガネ]	・100株以上500株未満ご所有	30%割引券1枚
	・500株以上ご所有	30%割引券2枚
	(但し、特別限定品は20%割引)	
[補聴器]	・100株以上ご所有	10%割引券1枚
	(但し、特別限定品は除く)	

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	(1) 定時株主総会・期末配当 3月31日 (2) 中間配当 9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	電子公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
上場証券取引所	東京 市場第一部

<ご注意>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページアドレス <http://www.aigan.co.jp>